

10/24 木 7時

首相、推薦確認調査否定

日統一教会 細田氏・安倍氏接点も

岸田文雄首相は二十八日参院本会議で、世界平和統一家庭連合(日統一教会)の関連団体が自民党の一部議員と交わした「推薦確認書」について、党として調査する考えがないことを明らかにした。野党からの調査要求に対し「議員本人か

い説明すべきものだと考へる」と述べた。細田博之衆院議長や、安倍晋三元首相と教団との関係についても党による調査を否定した。

二十八日夜に官邸で開いた会見では、教団の調査を担う文化庁宗務課の人員を定員の八人から来月には二

巡り「私が任命した閣僚には政治への信頼が損なわれないよう、説明責任をしっかりと果たしてもらわなければならぬ」と語った。

寺田氏は二十八日の記者

会見で野党からの辞任要求に応じる考えがないと説明した。

首相は本会議で、教団を巡る被害者救済法案について、「国民の信頼回復には近道はない。国民の声を受け止め、一つの結果を出す」と強調した。

政治資金を巡る問題が相次いで判明している寺田稔

に基づく教団への解散命令

講求に關し、過去の事例と比較して解散理由に該当すると明確に認められないと必要な対応を取るとした。

して、憲問権の行使を通じて客観的な事實を明らかにし